

	東北大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）
学部・研究科名	<p>医学部保健学科</p> <p>看護学専攻（第1年次：70名）</p> <p>放射線技術科学専攻（第1年次：37名）</p> <p>検査技術科学専攻（第1年次：37名）</p> <p>医学系研究科保健学専攻（M：24名、D：10名）</p> <p>（看護学コース、放射線技術科学コース、検査技術科学コースの合計）</p>
沿革・設置目的	<p>それぞれ設置された東北帝国大学医学専門部附属医院看護婦養成所、東北大学医学部附属診療エックス線技師学校、附属衛生検査技師学校を母体に、東北大学医療技術短期大学部が設置された後、平成15年、看護学、診療放射線技術科学及び衛生技術科学に関する教育・研究を行うことを目的として医学部保健学科が設置された。</p> <p>大正2年（1913年） 東北帝国大学医学専門部附属医院看護婦養成所開設</p> <p>昭和24年（1949年） 東北大学設置</p> <p>昭和26年（1951年） 医学部附属病院高等看護学校設置</p> <p>昭和28年（1953年） 医学部附属診療エックス線技師学校設置</p> <p>昭和37年（1962年） 医学部附属衛生検査技師学校設置</p> <p>昭和48年（1973年） 医療技術短期大学部設置</p> <p>平成15年（2003年） <u>医学部保健学科設置</u></p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p> <p>平成20年（2008年） 医学系研究科保健学専攻（前期課程）設置（平成22年（2010年）に博士後期課程を設置）</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 「研究第一」「実学尊重」等の理念の下、人間性豊かで幅広い教養と確固たる倫理観を持ち、科学的な知識と技術、総合的な判断力を備えた医療専門職を育成する。特にリサーチマインドを備えた高度専門人材の育成を積極的に推進する。</p> <p>○ 大学院において、大学病院との連携を活かし教育能力を持った実践看護師の育成とキャリア構築を支援する取組や専門看護師、医学物理士等高度な専門職の育成を行う等、健康科学を牽引する高度専門職者、教育者、研究者を育成する。</p>

- 周産期看護における研究、専門人材育成を初めとする取組や、保健系分野と医学・工学等の関連分野との共同による新たな医療技術等の創出、地域母子保健活動に関する研究等を通じた震災復興への貢献等の取組を推進し、東北地方の保健医療の貢献のみならず、国際的に発信する。